

旧吉田茂邸(大磯)と 鎌倉の近代建築視察研修会

鎌倉は鎌倉幕府が開かれて以来、その地形は四神相応の優れた風水の整ったところとして、多くの人たちがそこに住居を構えてきました。また、風光明媚な湘南海岸は、明治以来近代国家建設で大きな富を築いた人たちが、景観と眺望の優れたこの土地に、欧米の近代建築やわが国が誇る数寄屋建築を建設してきました。いずれも、戦災にも遭わなかったことが、貴重な優れた建築デザインを現在に伝えています。今回見学する建築はいずれも、建築の歴史文化を伝承した建築のポキャブラリー(「建築形態」、「建築詳細」、「建築装飾」)を駆使してデザインされたもので、それぞれの建築家が建築物をとおして、見る人たちに建築文化を伝えようとしています。そのメッセージを読み取る研修にしたいと思っています。

- ◆ 研修日 : 2018年3月14日(水)
- ◆ 研修地 : 神奈川県
- ◆ 団 長 : 住宅生産性研究会理事長 戸谷英世
- ◆ 費用 : 一般 ¥25,000
住宅生産性研究会会員 ¥20,000
- ◆ 参加定員:20名様 ◆申込締切日:3月7日(水)
- ◆ スケジュール:



鎌倉文学館(旧前田侯爵家別邸)

09:30 新横浜駅集合・出発～旧吉田茂邸(大磯)～鎌倉近代建築群～新横浜駅解散18:00

◆ 視察住宅:

- ①旧吉田茂邸＝明治17年に吉田茂の養父建三が別荘として建てたもので、吉田茂が昭和19年から生涯を閉じる昭和42年まで過ごした邸宅。豪華数寄屋建築風の総檜造りの本邸は、建築家吉田五十八の設計で、京都の宮大工が建設した。平成21年に焼失したが、昨年再建された。
- ②鎌倉文学館(前田侯爵家別邸)＝昭和11年旧加賀藩前田家の別荘として建てられたもので、佐藤栄作元首相の別荘としても利用された。外観は和洋折衷、内部はアールデコ様式のデザインが随所に見られる。三島由紀夫の小説「春の雪」の舞台としても登場する。
- ③福島浪蔵邸(長谷子ども会館)＝明治41年に建てられたギリシャ風建築様式による華麗な建物。
- ④旧華頂宮邸＝昭和4年建築の古典的なハーフティンバー・スタイルの洋風建築。国の登録有形文化財。

企画主体 : NPO 法人住宅生産性研究会

研修実施 : (株)グローバル研修企画 TEL:03-3230-4876 <http://www.hgkk.co.jp>

★ 当研修会に参加をお申込みの方は、下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、(株)グローバル研修企画までFAXまたはEメールでお送り下さい。詳しい参加案内書と研修費の請求書をお送り致します。

FAX:(03)3230-2557 TEL:(03)3230-4876 Eメール:kobayashi@hgkk.co.jp 担当:小林

【旧吉田茂邸と鎌倉の近代建築視察研修会 参加申込書】			
お名前		会社名	
部署・役職		会社住所	〒
TEL			
FAX		E-mail	